

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。  
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

## 第22回生涯学習フォーラム

2月16日(土)に大田原市生涯学習フォーラムが「地域に生きる～親から子へ 子から親へ～」をテーマに大田原市総合文化会館で開催されました。

講演会では、大田原ツーリズム代表取締役社長の藤井大介氏が「食生活からガンやかぜを防ぐ～大人から子どもたちまでの食からの健康～」と題して、その土地のものや旬のものを食べる効果、「しもつかれ」に代表される郷土料理を伝承することの大切さなど、食と健康との関係についてお話しされました。

実践活動発表では、大田原市家庭教育オピニオンリーダー連絡会、大田原図書館、親園地区生涯学習推進協議会の3団体が発表を行いました。みんなでジャンケンを行ったり、寸劇で問題提起をしたりするなど、会場を盛り上げる発表もありました。

アトラクションでは、金丸小学校合唱部35名による元気いっぱいの合唱、大田原市民吹奏楽団の力強い演奏が行われました。最後に両団体が一緒に「大田原市歌」を演奏しフィナーレを迎えました。

どの発表に対しても、会場からは盛大な拍手が送られました。



## 元気にイキイキ、子育て孫育て！「孫まご講座2013」

孤立しがちな現代の子育て環境を少しでも改善できるよう、那須町では祖父母世代を対象とした「孫まご講座」を開催しました。

核家族化や出産後も仕事を続ける女性の増加等により、子育て環境は昔と比べて様変わりをしています。そのような中で、祖父母世代が現代の子育てを学ぶことは、子育て真っ最中のパパママ世代とハッピーな関係性を築くことにもつながります。

2月18日に行った第1回講座では、NPO法人孫育てニッポン理事長の棒田明子さんを招いて「地域とつながった子育て・孫育て」をテーマに、今時の子どもと祖父母の事情を踏まえながら、地域で子育てすることの大切さについてのお話をいただきました。また、3月4日に行った第2回講座では、国際医療福祉大学病院バースセンター看護師長、間中伴子さんを招いて、「祖父母は孫育てにどう関わればいい？」をテーマに、現代と昔の子育ての違いや孫と安全に楽しく遊ぶコツをお話いただきました。

これからも那須町では、楽しくハッピーになれる家庭教育支援を継続、実施していきます。



## 文化財紹介映像資料(DVD)『那須塩原市の文化財』完成

那須塩原市内の指定文化財(国・県含む)紹介映像資料(DVD)がこの度完成しました。

国・県指定を含む市内指定文化財は166件あり(平成25年2月現在)、平成24年3月に、これらを網羅した冊子資料を発刊したところですが、さらに幅広い年齢層に、文化財への理解を深めてもらうことを目的として、関係機関の協力により、2年の撮影・編集期間を経て、視聴覚資料完成の運びとなりました。

この映像資料は、四季折々の映像に加え、補足説明のための図版も取り入れ、映像資料としての充実を図りました。

この資料は、那須塩原市内の図書館・公民館のほか、那須地区の公共図書館、県立図書館での閲覧・貸出を予定しております。ぜひ、御覧ください。



鍋掛のイトヨの写真

## 小学校部活動・スポーツ少年団活動指導者講習会の実施

那須地区における小学校での部活動・スポーツ少年団活動は非常に盛んに行われており、全国大会や関東大会等で活躍するチームや選手も増え、子どもたちの夢やその活動に携わる指導者・保護者の期待も益々大きくなっていることと思います。

しかし、一方で勝利至上主義の行き過ぎた指導や過度な練習によって、スポーツ障害や燃え尽き症候群、また人間関係のトラブルなどの問題を抱えているチームや選手も少なくはありません。

そこで、今年度から那須教育事務所が中心となり、那須地区3市町教育委員会(大田原市・那須町・那須塩原市)が連携・協力し、指導者の資質向上を目指した講習会を各市町ごとに年2回実施しました。

第2回講習会を大田原市は2月27日(水)、那須町は2月22日(金)、那須塩原市は3月7日(木)に実施しました。どの講習会でも、各市町と那須教育事務所担当者で作成した「未来にはばたけ～那須地区の小学校における部活動・スポーツ少年団活動の手引～」を使った講習を行いました。

次年度もこの講習会を継続実施し、指導者の資質向上を目指す予定です。講習会で使用した手引については、那須教育事務所HPでダウンロードできますので、ぜひ御活用ください。

